

マニフェストを實現します

暮らしを支える 夢をかなえる

人を大切にするまちに

問い合わせ先

市役所本庁舎企画調整課 ☎ 0857-20-3153

竹内市長3期目の方針

今年4月11日に行われた鳥取市長選挙で当選を果たした竹内功市長は、6つの柱をもとにマニフェストを掲げ、3期目の市政を担います。

これまでの2期8年で、市町村合併や行財政改革など、さまざまな課題に取り組み、新しい鳥取市の盤石な基礎づくりを行ってきました。これからの4年間は、それを土台に、より深い市民との協働とともに、より広い舞台で、鳥取市が大きな存在感を発揮できるように施策を進めていきます。

マニフェストの要点

今後4年間のマニフェストは「鳥取力を高めます」「市

民の健康を守ります」「緑あふれるまちへ」「地域交通・防災システムの充実」「山陰海岸ジオパークを世界へ」「鳥取の特産をブランド化し全国販売」の6つの柱で、暮らしを支える、夢をかなえる、人を大切にするまちにし、子どもからお年寄りまで「やる気と元気のでるまち」をめざします。

総合計画の策定に向けて

鳥取市第9次総合計画は、今年度中に内容をまとめ、平成23年度から実施することとしています。

このマニフェストをもとにして、市民のみなさんのご意見を大いに取り入れ、地方主権の時代にふさわしい総合計画を策定していきます。

鳥取力を高めます

- 積極的な景気・雇用対策を引き続き展開し、4年間で2000人以上の新たな雇用の場を市内に確保します。
- 若者定住のため、鳥取県と連携して鳥取環境大学の公立大学法人化と、特色ある教育内容を実現します。
- 新たな中山間地域対策を推進するとともに、61の地区公民館の区域における地域の特色を活かした、協働のまちづくりを強力に支援します。
- 人づくりが地域づくりの基本。ふるさとを大切に、強い志を持つ子どもを育てることをめざします。地域で活躍する人材を増やし、その幅広い活動に必要な情報提供や資金援助などを行います。



市民の健康を守ります

- 基本検診、がん検診などの受診率50%以上をめざして、計画的に向上させるとともに、子どもの就学前検診と発達相談の充実を図ります。
- 鳥取市立病院の小児科の復活と、がんの治療体制の充実などを実現します。
- 健康づくりと医療と福祉の連携・融合を実現するため、各分野の専門家による検討を進めます。
- 「健康・子育て推進局」を新設し、市民健康手帳の導入と、健康づくり地域相談室を開設します。



緑あふれるまちへ

- 鳥取方式の芝生化をさらに進め、保育園・幼稚園・小学校を思いっきり遊べる緑の空間にします。
- 広葉樹を増やし、山を守り、緑あふれるまちづくりをします。
- 平成25年度に「全国都市緑化フェア」の開催をめざします。
- ごみの減量化を図り、生ごみを活かす循環型社会をめざします。



地域交通・防災システムの充実

- 既存のバス・鉄道と連携した、生活に便利な地域循環バスなどを導入し、地域の暮らしを支えます。
- 耐震対策の実施を進めるなど、防災体制の充実・強化を図り、災害に強い安全・安心な暮らしを実現します。



山陰海岸ジオパークを世界へ

- 山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワーク加盟をめざします。
- 鳥取の宝・砂丘の再生に取り組みます。
- 砂像のまち・鳥取を世界にアピールします。
- 因幡全体の広域観光を積極的に展開し、平成25年度の鳥取市への観光客を320万人以上とします。
- 日本一の湖山池の汽水湖化を進めるための条件を整備し、美しい湖と豊かな水産資源を復活させて、その活用を図ります。



鳥取の特産をブランド化し全国販売

- 市内各地の数多くの特産品の生産とブランド化を支援し、市が新たに開設するインターネットショップで全国に販売します。
- 鳥取自動車道を活かし、農商工・産学官連携を通じて「鳥取発の産業おこし」を強力に推進します。

